

第14回
定期演奏会

和み

NAGOMI
SYMPHONY
ORCHESTRA

交響楽団 指揮: 藏野雅彦

NAGOMI SYMPHONY ORCHESTRA

演奏曲目

ベートーヴェン
交響曲第6番「田園」

第14回演奏会は、ダブルシンフォニーで演奏をさせていただきます。まずは、ベートーヴェンの「田園」です。数々の名曲を遺した彼の傑作の1つで、彼自身が「田園」と副題をつけたことでも有名。古典派としては異例の「5楽章編成」であり、彼の創作活動の絶頂期の1つに作られた本曲。感情の表現であると作曲家自身が表しているものの、聴くとやはり、どこか懐かしい、そして美しい田園風景を想像させる、穏やかな作品です。暑い夏の1日に、さわやかな雰囲気を楽しんでみませんか？

チャイコフスキー
交響曲第4番

第14回定期演奏会のメインを飾るのは、チャイコフスキーの交響曲です。彼が遺した6つの交響曲(完成分のみ)の4番目であり、俗に「3大交響曲」と呼ばれる4番から6番の最初を飾る本曲。経済的にも安定し、才能を存分に発揮出来るようになった彼が、壮大な交響曲を完成させ、絶賛された本曲。この後の創作活動にも多大な影響を与えました。暗から明へ。絶望から希望へ。苦悩から勝利へ。4楽章にわたる「心の移り変わり」の構成をぜひお楽しみください。

オペラ公演を経験し、一回りも二回りも成長した、我々和み交響楽団の新たな挑戦です。
ぜひ、皆様お誘い合わせの上、ご来場いただくと幸いです!!

2016 9/4 SUN 13:00開場 14:00開演 入場料 ¥1,000 (全席自由) 12:30より当日券販売 ※未就学児のご入場はご遠慮願います。

当日、託児室を設置いたします(6ヶ月以上の児童対象・定員あり・1人2,500円) ご希望、お問い合わせは2016年8月21日(日)までにnagomi_orch@infoseek.jpまで、メールにてご連絡下さい。



チケット
お問い合わせ

- 京都コンサートホールチケットカウンター TEL:075-711-3231/3090(10:00~17:00)
 - 和み交響楽団 事務局: nagomi_orch@infoseek.jp ホームページ: nagomiorch.web.fc2.com
 - ローソンチケット 発売中 Lコード:57843
0570-084-005(音声自動応答24時間) http://l-tike.com ローソン店頭Loppi
 - JEUGIA 三条本店3F(APEX管楽器) TEL:075-254-3750/三条本店別館(APEX弦楽器) TEL: 075-229-6560
- ※当団でのチケットの払い戻しは致しかねますので、予めご了承下さい

京都コンサートホール 大ホール

京都市営地下鉄烏丸線 北山駅下車 1番出口 南へ徒歩3分

- JRの場合: JR京都駅にて地下鉄烏丸線に乗り換え、国際会館行で北山駅下車。乗車時間約16分
- 阪急の場合: 阪急烏丸駅にて地下鉄烏丸線四條駅に接続、国際会館行で北山駅下車。乗車時間約12分
- 京阪の場合: 京阪丹波橋駅にて近鉄に乗り換え、竹田駅にて地下鉄烏丸線に乗り換え、国際会館行で北山駅下車。乗車時間約24分(丹波橋駅からの直通電車もあります) ●住所: 左京区下鴨半木町1-26 TEL: 075-711-2980

駐車場のご案内 午前8時~午後11時 但し、休館日を除きます。30分毎 ¥250 約100台収容可能 どのような様でもご利用いただけます。

藏野 雅彦

MASAHIKO KURANO



京都市生まれ。8歳よりオルガンを習う。京都市立上京中学校吹奏楽部でトランペットを始める。京都市立堀川高等学校音楽科を経て東京藝術大学音楽学部卒業。ソリストとしてハイドン等のトランペット協奏曲をオーケストラと共演するほか、フリーランサーとしてカラヤン指揮ベルリンフィル、NHK交響楽団、東京都交響楽団、新日本フィルなどで演奏する。また上野の森管楽奏団、東京チェンパープラスコイヤー、京都シティプラスアンサンブルで活動。藏野雅彦金管五重奏団を主催。1989年リサイタル開催。トランペットを八木茂夫(元京響)、北村源三(元N響首席)、ウバルト・シュナイター(元バイエルン放送響首席)の各氏に師事。1987年本格的に指揮の勉強を始める。1992年ウクライナ国立交響楽団より招聘されマラー/交響曲第1番「巨人」、プロコフィエフ/ロミオとジュリエットを指揮、国内では京都市交響楽団演奏会でオネゲル作品等を指揮しプロデビューする。2002年文化庁派遣芸術家在外研修員としてオーストリア国立グラーツ芸術大学に留学、マルティン・ジークハルト教授に師事。グラーツ歌劇場においてフィリップ・ジールダン氏からオペラ指揮法を学ぶ。2004年にはロシア国立ノヴォシビルスク・アカデミー交響楽団より招待され、マラー、R.シュトラウス作品を

指揮し満場のスタンディングオベーションを受けた。06年には兵庫県芸術文化センター開館事業として中西寛作曲のオペラ「おさん 茂兵衛丹波歌麩」を指揮し大成功を収めた。2008年高昌帥作曲関西シティフィル委嘱作品「あなたに」の初演指揮で大好評を得る。2010年平野一郎作曲八幡市委嘱作品「八幡縁起」の初演を指揮大きな反響を呼び、さらに2016年同氏作曲「八幡大縁起」の初演を指揮し大成功を納めた。またアンドラーシュ・アドリアンF.、大嶋義実F.、北村源三Tp.、上田仁Tp.、菊本和昭Tp.、ジェイ・フリードマンTb.、稲庭達VI.、漆原啓子VI.、上村昇Vc.、藤森亮一Vc.、中村功Per.、阿部裕之Pf.、児嶋一江Pfといった世界的音楽家と協演する。現在までにキエフ・シェフチェンコ国立歌劇場管弦楽団、ウクライナ国立交響楽団、ロシア国立ノヴォシビルスク・アカデミー交響楽団、ロシア・マリエリ国立歌劇場、同管弦楽団、キエフ・ルイセンコ音楽院弦楽合奏団、京都市交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、京都フィルハーモニー室内合奏団、大阪市音楽団をはじめ多くのオーケストラを指揮し好評を博す。第13回京都芸術祭京都府知事賞受賞。指揮を小泉和裕、田中良和、故伊吹新一、故遠藤雅古の各氏に師事。現在、京都教育大学および同大学院非常勤講師、京都市立京都堀川音楽高等学校教頭。

和み交響楽団

NAGOMI SYMPHONY ORCHESTRA



当団は、「学生時代に各方面の大学オーケストラで喜怒哀楽を共にした仲間達と、もう一度音楽をやりたい!」という熱意から、2007年3月に青春時代の話を咲かせる中で誕生した、京都を本拠地とする楽団です。「和み交響楽団」という命名の由来は、「演奏会に足を運んで頂いたお客様に和んでいただきたい」、「和(=ハーモニー)を大切にしたい音楽をしたい」、そして「一緒にいると和める仲間でありたい」という団員全員の想いが込められています。当初は京阪神の大学の交響楽団、弦楽団、吹奏楽団等で活躍したメンバーを中心に構成されていました。しかし現在はその枠を越えて、京阪神どころか中には関東圏からも「和みの音楽をやりたい」というメンバーが集まっています。団名に込めた思いの通り、私達の演奏で皆様に「和み」を感じて頂けるよう、さらなる熱意をもって約60名の団員で練習に取り組んでいます。